

デイケア新聞 2021年7月 184号

医療法人清照会 湊病院 ｲﾝﾌｧﾝﾀ-
発行：令和3年7月26日
発行責任者：加賀 司
編集担当者：野月 恵子
Y・Y T・M Y・S
K・A

すずらん

七夕完成しました



皆で力を合わせて引っ張りあげます



和紙を染色しています



素敵な色に染まりました



病院のロビーに飾ってます



売店の横にも飾っています



ガーデンの野菜たち



今年はスイカも育てています。
とても甘く出来ました。

(K・A)



Wさんの映画紹介

今回は以前にも紹介したことがある「ブレードランナー」を再び取り上げます。レプリカント（人造人間）とそれを取り締まるブレードランナーとの戦いを通して人間とは何かを問いかけるSFハードボイルドです。当時としてはものすごくお金をかけて造られましたが、興行的には大失敗でした。ビデオが普及してから少しずつ人気が出ました。何もかも人間そっくりに作られているレプリカントですが、テストをすれば人造人間かどうか分かるとのこと。どうもレプリカントは生物の死というものに共感出来ないらしく、ここが映画の胆となるところです。最後、ブレードランナーのデッカーとレプリカントのロイバディが対決するシーンでは、ビルから落ちそうになるデッカーをロイバディが助け自ら死を受け入れる。理解して共感したのだと思う。死の意味を。慈悲の心を手に入れたのかも。普通にSFアクション映画として見ても面白いので是非ご覧下さい。



Hさんのおすすめ本紹介

世界で最も難しい言語と言われる日本語。では、私たち日本人は子どもの頃どのようにして日本語を習得したのでしょうか。そんな素朴な疑問に答えるのが、「ちいさい言語学者の冒険」（広瀬友紀・著）です。子どもの言い間違い等を言語学の切り口から読み解き、日本語のみならず言語の面白さや奥深さが分かる本です。言語学について全く知らない人でも読んで楽しめる内容なので是非、図書館で借りて読んでみて下さい。



Yさんの随筆

近所の家に私にとって特別な花が咲いている。ゴミ捨てる時に暫く眺めている。その花は丹精込めて庭いじりをするような家庭でよく見かける。色は白。その花は自分を正してくれる。花から照らされているような気持ちになると、割と悪いことが起こらない。その家の人が花を育ててくれる限りきっとこの気持ちは続くのだろう。とてもありがたいと思う。花というのは不思議な力がある。



編集後記

デイケア新聞 183号をお読みいただきありがとうございます。
七夕飾りが出来上がりました。ロビーに飾ってありますが、大きくて迫力があります。オリンピックも始まりました。コロナ禍での開催ですが、選手達を精一杯応援したいと思います。（野月）



〒031-0813 青森県八戸市大字新井田字松山下野場7-15
TEL: 0178-25-0011 FAX: 0178-25-6721

医療法人 清照会 湊病院デイケアセンター